

リサイクル通信

2004.6

やつと梅雨に入りこれから先、じめじめとした嫌な季節が始まります。ただ嫌な時期だと思つのは、人間だけで、草花にとっては恵みの雨なのかもしれません。新聞等によりますと、今年の夏は、例年並の厳しい暑さが続くとの予報が出ています。でもこの暑さ、地球から人類への警告かもしれません。

オゾンホールは今年、過去最大を記録したそうです。

中国の廃プラスチック

ここ最近廃棄物業界で話題となっているのが、某業者における中国への廃プラスチックの輸出事件です。何が問題なのかと言いますと、リサイクル可能な廃プラスチックを輸出していたはずが、どう見てもゴミにしか見えないものが混入していたそうです。



国際環境規格 ISO14001
長沼商事株式会社

埼玉県所沢市林 1-306-7

これが中国の検疫にひっかかり、問題が発覚、中国国内で問題となりました。この事件により日本からの全ての廃プラスチックの中国輸出が禁止になりました。これは現在も継続中です。今回、廃プラスチックのみならずスクラップ業界にも影響が出てきました。日本スクラップ業界でも解体物など手間が合わず、安い人件費の中国へ輸出が行われています。その中には、バーゼル条約違反の物も含まれている場合があります。今回中国は、これらの品々が中国国内の環境を悪化させていると言っ

見知から解体スクラップは一部輸入禁止、廃プラスチック全面禁止措置に踏み切りました。

今が儲け時と、一部悪質業者が、いけないことと知りつつも行った行為が、自分の首を絞めるだけでなく業界全体、他業界までも巻き込んでしまったのです。

中国は広く、内陸の奥まで経済成長が行き届くまでには、まだまだ長い時間がかかります。

未永いお付き合いをする為にも、目先の欲には負けないことが、業界全体の生き残りの道ではないでしょうか？

中国は、七月一日まで輸出業者の登録を受けつけるそうです。これはかなり厳しく中国の環境法律関係、自社受け入れヤード等十一項目をクリアしないと許可を与えないそうです。許可をもらえた輸出業者も、許可の取り消しがある為、いい加減な物の受け入れはしない方針を固めているそうです。中国は今、経済成長と環境の両立をどのように行うか大きな岐路に立たされている状況と言えるでしょう。

トランス

ここで当社が今まで受け入れした物の中で、受け入れをお断りする場合があります。出てきました。

この見出しにもあるようにトランスです。中には、銅(アルミ)と絶縁油が入っているのですが、問題は、絶縁油の方です。トランスと言うとPCBが問題となっていますが、それも古い物だけとされていました。

しかし最近のトランスの一部から微量のPCBが検出されたそうです。これにより県からの通達で、最近の絶縁油の検査表を提出してもらい、安全性が確認できない物については、受け入れをしないよう指示がきました。

このことから当社が受け入れ可能な物としては、最近の絶縁油の分析データで安全性の確認ができる物だけになります。

PCB混入の場合には、法律上、発生元の保管責任となります。

排出事業者様・解体業者様・収集運搬業者様においては、ご理解・ご協力の程よろしく御願ひ致します。